

第1回 埼玉県スポーツ科学拠点施設整備に関する専門家会議にて
委員から頂いた主な意見

1. 本施設の機能【サウンディング概要資料 II 1 (1)③機能 (P9)】
 - スポーツ医学を用いたアドバイスを受けるコーチやアスリートが研修や学びをするスペースの整備は重要である。
 - 昨今のスポーツ医学において重要視されるコンディショニングに係るスペースの確保は重要であり、スポーツ科学拠点施設の整備に合わせて 25mプールが整備された場合、コンディショニングに係るスペースとしての活用も想定される。
 - ハイパフォーマンススポーツセンターの方式に倣う機能・倣わない機能を整理する必要がある。

2. 本施設の整備【サウンディング概要資料 II 1 (1)④整備必須施設・任意施設 (P10-11)】
 - ランニングコースとランニングステーションの整備については、県民の実施率が高いウォーキング・サイクリング・ジョギングとの関連性も含めて検討してもらいたい。
 - 女性アスリートのサポートの視点として、託児施設・託児ルーム・授乳室・トイレにおけるおむつ替え台の設置についても検討する必要がある。

3. 本施設の施設規模【サウンディング概要資料 II 1 (1)④整備必須施設・任意施設 (P10-11)】
 - プロスポーツを呼べる広さの体育館や、ICTの活用を想定するとよい。

4. パラスポーツ【サウンディング概要資料 II 1 (4)①スポーツ科学拠点施設運営業務 (P13)】
 - パラスポーツの利用促進のため、県民への周知が必要である。

5. 事業手法【サウンディング概要資料 I 3 事業方式 (P2-3)】
 - コンセッション方式の導入についてもあわせて検討してもらいたい。

以上